

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（泊3号炉）
（503）
2. 日時：令和5年4月25日 10時00分～10時40分
3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

宮本上席安全審査官、大塚安全審査官

北海道電力株式会社：

原子力事業統括部 部長（安全技術担当）、他8名

原子力事業統括部 原子力リスク管理グループ※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本面談については、事業者から対面での面談開催の希望があったため、「緊急事態宣言解除を踏まえた原子力規制委員会の対応について」（令和4年3月9日 第70回原子力規制委員会配付資料）に基づき、オンラインで実施した。

6. その他

提出資料：

- （1）泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について（設計基準対象施設等）第6条 外部からの衝撃による損傷の防止（火山）（DB064V r. 7. 0）
- （2）泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について（設計基準対象施設等）比較表 第6条 外部からの衝撃による損傷の防止（火山）（DB064V-9 r. 7. 0）
- （3）泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト（第6条 外部からの衝撃による損傷の防止（火山））
- （4）泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト 第6条 外部からの衝撃による損傷の防止（火山）

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:07	規制庁大塚です。それでは北海道電力、泊発電所 3 号炉の
0:00:12	設置変更許可申請の屋上、
0:00:15	火山についてのヒアリングを開始します。それではまず事業者の方から説明をお願いします。
0:00:25	北海道電力の新井でございます。
0:00:27	まず、前回のヒアリングでコメントいただいた内容につきまして、回答を行いまして、そのあと比較表を用いて今回反映した事項をご説明させていただきますたく思います。
0:00:38	それでは初めに資料 6-3、コメント回答リストの方をお願いいたします。
0:00:45	2 分の 2 ページの方をお願いいたします。
0:00:48	今回回答させていただくのは、No.10 から No.13 の 1.4 件になってございまして、2 件が換気空調設備のフィルターに関するコメント、その他の 2 件は、
0:00:59	羽田野側で角の進捗によらず、記載可能な箇所について可能な限り記載することといった趣旨のコメントをいただいております。
0:01:08	それではまず、ナンバー 10 番について回答させていただきます。
0:01:12	平形フィルターの構造がわからずについてコメントいただいております。こちらにつきましては資料を跨いでしまうのですが、資料 6-2 比較表の方をお願いいたします。
0:01:22	こちらのページの別添資料 1 の個別評価 5 番。
0:01:27	4 ページをお願いいたします。
0:01:37	こちらの図、4 番の方に平形フィルターの構造図を示しております。
0:01:43	ケーシングの中に、平形フィルター、こちらの粒径 5 マイクロメートルの 85% 捕集効率のフィルターを装着しまして、金網がついたふたで固定しております。
0:01:55	平形フィルタ構造につきましては、このような構造となっております。
0:02:02	また、コメント回答リストに戻っていただきまして、ナンバー 12 番、お願いいたします。
0:02:10	フィルター名を確認すること、特に外気取入口のフィルターについて、センコーがバグフィルターを記載しているところで泊フィルターのみ記載して良いか確認することと、コメントをいただいております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:25	泊では平形フィルターそれからそのフィルターがありまして平形フィルターの場合は平形フィルターと表記しております。
0:02:33	平形フィルター及び宗フィルターと、
0:02:36	をシェアしてる場合につきましてはそれぞれの記載名称を、そう、そうして、フィルターと記載しております。
0:02:43	また、外気取入口に対するフィルターについては、女川ではバグフィルターを採用している。
0:02:49	ところでございますが、泊では、バグフィルターを採用しておりませんので平形フィルターを設置しております。そのため平形フィルターという形で記載してございます。
0:03:01	コメント回答リスト残り2件No.11それからNo.13につきましてはハザード側の火山進捗によらず記載可能な箇所について記載充実化するという点がございまして、
0:03:13	こちらについてはこの後比較表を用いてご説明させていただきます。
0:03:18	では次に資料6の2番、比較表の方をお願いいたします。
0:03:27	取りまとめた資料の1ページ及び2ページの方をお願いいたします。
0:03:35	今回ご説明させていただくのは主に2点でございまして、まず一つ目は、ディーゼル発電機の燃料油中層トレンチを外部事象防護対象施設等に追加した件です。
0:03:48	もう一つにつきましては、現時点で想定している降下火砕物に対して評価を実施しております。
0:03:54	こちら今まで辻としていた箇所に評価結果を反映しております。
0:03:59	なお、
0:04:00	今回実施したのは想定される層厚等で評価してございまして、今後、地震津波側の審査で確定後方針等に変更が発生した場合は別途ご説明させていただきますことと。
0:04:12	します。
0:04:14	まず、ディーゼル発電機の燃料油貯油槽トレンチについてですが、
0:04:20	外部事象防護対象施設の一つに、ディーゼル発電機燃料油移送管がございまして、
0:04:27	この燃料油移送管を内包しているのがトレンチでございまして、六条竜巻の方で、燃料油移送管の防御についてコメントをいただいておりますが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:36	6条火山につきましても、トレンチに荷重等の小火砕物による影響が考えられるため、評価が必要と判断しまして、今回、外部事象防護対象施設等の
0:04:47	屋外に設置される施設として追加してございます。
0:04:53	次に、降下火砕物の減点想定での評価についてご説明いたします。
0:04:59	比較表のページ番号6火山の4ページをお願いいたします。
0:05:08	今回文献調査それから、現在、立地調査の方で説明中でありまして地質調査及び降下火砕物のシミュレーションを踏まえまして、層厚20センチ、それから粒径は4ミリ、
0:05:22	それから三つ目につきましては、乾燥状態で0.7グラムパー立法センチメートル、通電状態で1.5グラムパー立法センチメートル。
0:05:31	と考えてございます。
0:05:32	これらの値を用いまして評価を実施しています。
0:05:37	また評価の中で、
0:05:39	女川や大飯など先行実績に行うものとして、降下火砕物による荷重と積雪荷重の主従関係がございまして。
0:05:48	こちらにつきましては別添資料の補足説明補足資料の17番でご説明させていただきます。
0:05:55	ページ数6は残の別添1、
0:05:58	57-1をお願いいたします。
0:06:13	都内の積雪の設計基準値であります189センチ、
0:06:18	による荷重と降下火砕物、こちら今回層厚20センチによる荷重を比較した場合、積雪荷重の方が大きいため、積雪荷重を主荷重、それから降下火砕物による荷重を従荷重として設定してございます。
0:06:35	なお従荷重として組み合わせる場合の降下火砕物による荷重の設定方法なのですが、通常自然現象の組み合わせでは、主荷重の最大値と従荷重の任意時点の平均値の和として作用の組み合わせ、
0:06:50	を考慮するTurkstraの法則の考え方に基づいてございますが、今回降下火砕物、
0:06:57	による荷重につきましては平均値を求めることが困難でございますので、想定噴火規模を一段階下げた場合の降下火砕物を推定してございます。
0:07:09	一段階下げますと、降下火砕物の堆積量が10分の1となることから、層厚20センチに対しまして、10分の1である層厚2センチを設定しています。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:21	以上、放管さ火砕物の、層厚、粒径密度それから、今の負債部と積雪の組み合わせの条件で評価した結果を各個別評価に記載してございます。
0:07:34	各評価対象施設に対する評価において、荷重、それから化学的影響、機械的影響を及ぼさないことを確認してございます。
0:07:45	最後に、残ってございます。今、ハザード側で書ける部分については、反映したのですが残る数字箇所についてご説明させていただきます。
0:07:58	まず、立地評価、それからモニタリングに関する内容につきましては、地震津波側の審査結果を受けて反映するため、別途ご説明させていただきます。
0:08:09	また、補足資料7番、こちら別添資料1の、
0:08:14	5-7-1の方をお願いいたします。
0:08:23	はい。
0:08:24	別添資料一番の方の7。
0:08:28	の一番、
0:08:29	をお願いいたします。
0:08:38	こちら降下火砕物の侵入による潤滑への影響について、記載している部分でございまして、想定される降下火砕物の濃度に関して、潤滑への性状の変化に対する評価を実施するものでございます。
0:08:52	こちら現在想定する降下火砕物の物性値で評価を実施しておりまして、成立する見込みではございますが、結果を踏まえて別途ご説明させていただきたいと考えております。
0:09:04	以上で説明の方を終了させていただきます。
0:09:13	はい。規制庁大塚ですご説明ありがとうございました。それでは確認に入りたいと思います。
0:09:20	まず今回の降下火砕物の層厚粒径密度等の辺りを仮で資料に反映して、
0:09:28	いただいているということなんですけど、それらの値の現在のですね
0:09:35	審査上のステータスっていうのをちょっと詳細に教えていただきたいんですけど、資料の中で、立地評価がまだ築地で全然
0:09:45	記載がないところがあったんですけど、立地評価が書けない。
0:09:50	ことに対して、
0:09:51	層厚。
0:09:53	とか粒径等が記載できる理由。
0:09:57	ご説明お願いします。
0:10:02	北海道電力の新井です。層厚それから粒径、それから密度に関しまして文献調査、そして今立地評価の中で、地質調査、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:13	の方を実施しております。それから確定した上で、
0:10:18	評価の方を実施するのですが、それが今、それに加えて火砕物のシミュレーションを行いまして、現時点での想定される。
0:10:29	それらの層厚粒径密度のパラメーターについて、今、評価の方に使用してございます。
0:10:42	規制庁大塚です。そうすると、立地評価の結果はまだ反映されていないということですか。
0:10:49	その20センチとかっていう数字に、
0:10:54	立地評価の方につきましても20センチと、想定される。
0:10:59	ものとしてヒアリング等でご説明させていただいてございますが、まだそちらの方確定の方までには至っておりません。なので、立地評価の方は、今数字とっておりまして、ただ数値の方はその過程を仮定といえますか、
0:11:15	以前説明させていただいた層厚。
0:11:18	それから粒径それから密度の方で、その数字を用いまして、今個別評価の方、
0:11:26	評価を実施してございます。数値としては確定しているものではございませんので、今後確定次第、確認して、また方針等が変わる際には、別途ご説明させていただきたいと考えております。
0:11:38	規制庁大塚です。立地評価の方の仮の評価も踏まえて今20センチと仮置きしてること理解しました。
0:11:48	あと、今回降下火砕物の数、数字が、
0:11:52	仮置きされている中で設計として泊独自の設計、先行プラントにない独自の設計っていうのはあるんでしょうか。
0:12:05	先行プラントにない独自の設計としましては、排水ストレーナの部分でございます。
0:12:13	こちら、個別資料の
0:12:30	個別評価の3番の方、お願いいたします。
0:12:49	はい。金さんの2ページで、
0:13:01	改めて北海道電力の新井です。こちら、衛藤。
0:13:05	海水ストレーナのエレメントの形が、先行と他社と違ってございまして、それから女川につきましては、八ミリ
0:13:15	となっております。しかし、泊の方では海水ストレーナのエレメントの穴径が3mm、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:21	となつてございまして、今現状想定しております粒径 4mmより小さい課題となつております。
0:13:27	しかしながら、ストレーナの閉塞対策としまして、常時する海水の一部をバイパスするブロー水で連続的に排水設計する、排水して回収する設計としてございますので、
0:13:39	閉塞等は発生しないと考えております。
0:13:47	泊藤氏の独自の
0:13:51	先行プラントと異なる部分としては以上となります。
0:13:54	北海道電力の笹ですちょっと今の説明補足させていただきます。
0:14:00	今、ご覧いただいているページの表1のところをご覧いただくと、原子炉補機冷却水冷却器括弧プレート型ってなつておりますここ
0:14:10	いわゆるプレート型熱交、泊3号機使ってます。泊12号機もそうですし先行プラントさんはいわゆるチューブ型の熱交換器使ってるので、
0:14:22	この隙間が泊の場合非常に狭いということで、それよりも小さいアメッシュのストレーナーを、その上流側につけてるっていう状況です。
0:14:34	小さいメッシュですので、詰まることが想定されるので、今新井が説明しました通り自薦式っていうんですか。
0:14:45	一部をバイパスさせて、
0:14:49	詰まったものという固まったものを洗い流すようなそういう仕組みがついているので、そこで降下火砕物はつまらないとかそれで閉塞することは無いというふうに評価してるというところが、先行とちょっと違うところでございます。
0:15:07	規制庁大塚で承知しました。ちょっとここについては、
0:15:12	特にバイパスつすして、
0:15:15	連続的に排水する設計としているっていうところ。
0:15:20	ちょっと、
0:15:22	よくイメージできなかったのでもっとズーをつけていただいて、ちょっとあの子つまらないってこと。
0:15:29	詳細な考察をどこかに記載していただくと助かります。
0:15:36	北海道電力の荒井でございます。海水ストレーナーのバイパス数で連続的に排水する設計につきまして、図それから説明文で補足させていただきます。以上です。
0:15:52	規制庁宮元です。今のところで補足だけ、補足というかこちらからのお願いとしては私もちょっとこのプレート型ってあんまりちょっと認識が

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ないのでまず、補機冷のプレート型の絵をつけてもらいたいと、どうい うものかっていう、
0:16:05	あとはここで言っている、3-1のところに書いてあるこの系統関係で のブローの系統も含めたやつを図示で入れていただきたいと。そうしな いとちょっと前センコーとの違いがちょっとよくわからないので、
0:16:19	その部分の図解したものをここに付けていただきたいとそういう認識 でいいですかね。
0:16:26	北海道電力の荒井です。
0:16:31	おそらく、ご指摘の件承知いたしました中ストレナーの、バイパスの 流量、それから、CC、ごめんなさい、原子炉補機冷却水冷却器のプレ ート型の図をつけること、それからそれぞれにつきまして説明文、
0:16:46	を充実していくことで承知いたしました。
0:16:54	規制庁大塚です。続きましてちょっと中身の細かいところで、取りまと めた資料の2ページのところで、
0:17:03	今回ディーゼル発電機の燃料湯のトレンチの方を追加していただいたん ですけど、
0:17:10	このトレンチについて、トレンチについての、何か詳細な資料、図とか を用いて説明っていうのは資料の方についてました。
0:17:23	トレンチにつきまして、の方は、今回つけてございません。
0:17:29	としましては、個別評価一番のところ
0:17:34	風についての評価、ある場所とそれから、今ですね、
0:17:40	少々お待ちください
0:18:02	規制庁大塚です。竜巻の方の資料では、
0:18:06	詳細なず一つきの資料がついてて、どこが飛来物に対して弱いのかって いう、詳細な説明があったので、それと同等な、
0:18:15	火山に対して、どこが弱いのかっていうのがわかるような、
0:18:19	図を用いた資料があった方がいいかなと思うんですけども。
0:18:23	追加していただいてよろしいでしょうか。
0:18:27	北海道電力の荒井でございます。トレンチにつきまして、必要図を追加 することを承知いたしました。なお、火山につきましては、トレンチの 宇和ぶた、それから衛藤、
0:18:40	祖父江に露出しております躯体の長坂部、そちらの方につきまして評価 を実施したいと、実施する予定でございます。
0:18:50	普通そちらにつきましても図を用いて説明できるように、資料のほう充 実していきたいと考えてございます。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:58	規制庁大塚です。藤トレンチのところに点検孔があったと思うんですけど点検孔については、火山に対しては、
0:19:06	問題ないんでしょうか。
0:19:11	点検法につきましても、
0:19:14	上部ふたと同様に屋外の方に露出する部分でございますので、そちらの方につきましても評価を実施いたします。
0:19:23	承知しました。
0:19:26	その辺についても図のほうに落とし込んでいただいて説明の方も追加お願いします。
0:19:37	伊勢淳宮元ですけど。
0:19:39	ちなみにですけど、
0:19:42	トレンチやめて埋設するってことは考えないですかね。何となく。
0:19:48	その方が楽なような気がするんだけど今トレンチしてるから、竜巻でもう、すぐ火山でも話になるんだけど、トレンチ西トレンチじゃなくて埋設にしまえば、あまりそういう心配はなくなると思うんだけどそこはあまり検討はしてないってことですかね。
0:20:02	保安全管理ですか。今、それはしてないですね。もうトレンチをしっかりともう竜巻から守ったりとか火山を守るほうが、多分埋設よりは、
0:20:10	わかりました別にしてしろってわけじゃないんだけど、わざわざトレンチ構造になってるからこれって結構、いろいろと上から物が来たりって飛来物がだったり
0:20:22	加工課生物の荷重って話があって、多分これ後付だから、
0:20:26	どうしてもそういう話になってるんだと思ってあと点検用のために、トレンチ構造にしてるっていうのは私も認識はしてるんだけど、
0:20:33	もうわかりました今現状については了解しました。
0:20:57	規制庁大塚です。続きまして6火山の7ページをお願いします。
0:21:06	この泊の記載の最初の黄色ハッチングの部分。
0:21:12	なんですけど、なお書きの鉛直荷重については次の記載なんですけどここはどこか先行プラント、
0:21:21	とかの記載を参考にされたんでしょうか、それとも今回作文したものなんでしょうか。
0:21:28	衛藤永木の本文のなお書きの以下の部分につきましては、先行で実績ございませんので、こちらは作文でございます。しかしながら、補足資料17、
0:21:39	3の方で先ほどの火砕物それから積雪の荷重の主従関係。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:44	この部分の説明、説明文がございませし、そちらの方から引用してございませし。
0:21:51	以上です。
0:21:54	規制庁大塚でしようしませし。
0:22:00	規制庁深山ですちよつとここんところ気になつてゐるんだけど、
0:22:04	この1段下げるつてやり方は、何かに基つてゐるんでしよつけ。
0:22:14	こちらにつきませしは、通常ですと、平均値を求めゐる。
0:22:18	方法で行うのですが、降下火砕物によるものの荷重につきませしは、その他の自然現象のよん、データ数が多いわけではございませしので、
0:22:29	平均値が金求めるのが困難と考へておゐませし。そのため衛藤火山の噴火規模、
0:22:36	今想定してゐる火山の噴火規模に對しませし、一段階下げた噴火規模として想定して設定してございませし。
0:22:46	知事宮部。そこは理解してゐるんですよ。ここの考へ方は、何かに基つてゐるんですかつていう。
0:22:53	北海道電力の太細です。今ご覧なつてゐる同じページのですね、
0:22:58	女川2号の欄の真ん中辺り、青線で囲つてありませしけれども、
0:23:05	女川で参考資料として、周中を逆転した評価という確認もしておゐませし、その中で、積雪が主
0:23:17	降下火砕物が中の場合は仮にですけどこうなるといふのがございませししたので、どうしても女川2号の方を参考にするね、一段階下げて10分の1と。
0:23:29	いふことで仮定といふか想定したといふものでございませし。
0:23:37	同様の箇所としませしは、柏崎6号7号さんで同じよんな評価を実施してございませし。以上です。
0:23:47	はい。
0:23:49	ちよつと確認なんですけど、1段下げる考へ方を書いてゐるのは女川ですよと、女川以外でも今柏崎も、この1段下げるやり方は使つてゐるといふ、そんいう認識。
0:24:04	北海道電力の荒井でございませし。その通りでございませし。
0:24:09	ここの記載つて、そこから持つてこれないこのな書きのところつて、センコー柏崎とかなんて書いてあつたんだつてつていふ話なんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載してゐませし。発言者による確認はしてゐませし。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示しませし。

0:24:18	北海道電力の荒井でございます申し訳ございません。なお書きの部分につきましては先行の方で書いた実績はございません。あくまでも女川と同様参考資料の、
0:24:29	方で衛藤効果火砕物それから積雪の方を逆転させたパターンで記載してございます。
0:24:36	規制庁宮です。このなお書きっていうのは、基本的に樫尾女川からは記載されていて、先行なわけがない、ない。
0:24:45	んですか。じゃ、
0:24:48	北海道電力の荒井でございます。先行なお書きがございますが女川同様、江藤種々脳、
0:25:00	地下中の部分が、降下火砕物それから従荷重の部分が積雪荷重となっておりますので、泊のように主荷重を積雪中荷重を火砕物とった。
0:25:13	起債の方法はしてるところはございません。以上です。
0:25:24	網野柏崎も手話火山灰。
0:25:33	北海道電力の荒井でございます。柏崎も手話主幹、火山灰の葉たばこ火砕物の方で実施してございます。
0:25:44	すいません、もう1回確認ね、
0:25:48	この一段階下げるやり方っていうのは柏崎でも女川でも、補足には書いてあると。
0:25:54	不足なりで、それは、
0:25:57	柏崎以前も変えている。
0:26:01	柏崎以降が書かれてるって、どっちですかね。
0:26:10	北海道電力の荒井でございます。申し訳ございません。柏崎6号7号、前後の記載の内容については、確認がとれていませんので、確認させていただきます。
0:26:41	北海道電力の荒井でございます。
0:26:43	その一段階下げるという方法につきましては、先行プラントさんの方でも実施してございます。先行プラントさんの方は、
0:26:54	資料としてまして、降下火砕物の方を主荷重それから、
0:26:59	積雪荷重の方を従荷重とした補足説明資料になっているのですが、補足説明資料の参考資料、
0:27:07	の方でその主従関係を逆転したパターン、積雪を主荷重、それから降下火砕物を従荷重とした。
0:27:14	パターンで評価しておりますしてその時に従荷重として降下火砕物を設定する際には噴火規模を一段階下げた。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:21	方法で、評価の方実施でございます。
0:27:27	宮ですけど、そこは理解しました。それで、今言われたやつを、ちょっと私が気にしてるのは実績としてあるプラントは、
0:27:37	最終的に組み合わせの議論の時に、主荷重を行き中梶岡山にしたプラントっていうのはありますかっていう質問なんですけど。
0:27:48	北海道電力の穴井でございます。その件につきましては泊が初めてでございます。
0:27:56	わかりました。基本的にはこの考え方っていうのは、柏崎校はしかし、
0:28:02	柏崎の前もそういう考え方でやって、ちょっと後整理させて、課長の1個柏崎女川にはこの考え方を記載されてるんだけど、それより前にもそういう考え方はある。
0:28:14	ないどっちですかね。
0:28:16	同電力の荒井でございます柏崎さん、以前の内容に記載については確認がとれてございません。申し訳ございません。
0:28:30	はい現状についてはわかりました。ちょっと気にしてるのは、もともとずっとこの考え方があって、採用したのがたまたま泊だけなのか、それとも、
0:28:43	柏崎校にこの考え方が導入されて、
0:28:46	なったのかっていうところがちょっとわからなかったもので、そこはよく確認していただければなと。
0:28:52	あとは余談になるかもしれないんですけど、
0:28:56	雪家もや結城が189だったっけ。なったので、というところもあるんですけど、泊の積雪時の除雪基準というのは幾つなんでしょう。
0:29:32	ちょっと
0:29:34	砂川さん私間違ったら教えて、我々の方要則とか建屋の上に積もるような、そういうものについては、まず、路面についてはもう10センチぐらい全部管理してですね、道路上につきましては、
0:29:48	ただ、建屋の屋上とかについては、150センチ以内になるようにしています。もともとそれが我々の方の積雪にしてたっていうふうになってるんですけども、
0:29:58	最大値をとるべきだって話があって181件変えたっていう、ヒアリング中で書いております。
0:30:04	砂川さん今の説明で合ってるかちょっと補足してあったらお願いします。
0:30:09	荒井戸電力の砂川です。基本的に今の危機で通りです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:15	950センチを超えないように、除雪、除灰を、150センチを超えないように、除雪を行うということで、50センチぐらいから体制を準備して、100センチから実際に、
0:30:27	除雪の準備をするというふうに段階的にそのように予測に定めてございます。
0:30:33	以上です。
0:30:35	はいわかりました。えっとですね、この火山の資料につける必要はないんですけど、ちょっと積雪の資料にはつけて欲しいなと思っていて、現状189で特に問題ないんですけど
0:30:48	現状というか、実質的にはどういうふうな管理をしてるかっていうのは、積雪のほうのまとめ資料なりには明確に書いておいた方がいいかなというところがあって、
0:30:58	それはなぜかっていうと組み合わせの議論になったときにこれ最終的に公認でまたやらなきゃいけないんだけど、今言われてるやつがそのままいくのか、それとも現実ベースで、
0:31:08	例えば
0:31:10	積雪能を減らすことは多分ないと思うんだけど、だからその今のこの考え方っていうのが、
0:31:19	ちょっと初めてっていうところがあるので、組み合わせの議論って、
0:31:25	先ほど言ったように、1段下げるっていう組み合わせの議論が過去もずっとやられていて、特にそれをたまたま採用してこなかったっていうならあんまり問題にはならないかなと思ってるんだけど、
0:31:37	柏崎以降ってなってくると、柏崎井谷確率でやってるところがあって、
0:31:43	ちょっと同じように同様かなっていう点で女川確かに書いてあるんだけど結局使ってないので、そうすると、
0:31:49	泊が初めてのパターンになりますよっていうことになっていて、
0:31:54	実際それが悪いって言うつもりは全然ないんだけど、そこを最終的に公認に行った時にそれでいいか悪いかっていう多分議論をもしかしらなきゃいけない可能性もあるので、
0:32:07	そこはよく確認していただければなと思いますけど、いいですかね。
0:32:14	北海道電力の荒井です。
0:32:16	承知いたしますか。
0:32:23	あ、規制庁大塚です。
0:32:25	それではちょっとこの、
0:32:27	噴火規模を1段下げるって話と、あと先ほどのストレナーのところで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:33	の説明をですね前の方の取りまとめた資料の方にも追加をお願いします。
0:32:43	北海道電力の荒井です。海水ストレーナー、それから原子炉補機冷却水
0:32:49	冷却器関係それから、
0:32:53	1段噴火規模を1段下げた方法につきまして、取りまとめ資料の方に反映していただき、反映の方をしていきます。以上です。
0:33:10	規制庁大塚です続きまして
0:33:14	別添1-4-1ページお願いします。
0:33:20	別添1個。
0:33:22	4-1です。
0:33:30	コメント回答の方で、
0:33:32	外気取入孔のフィルターについての説明があったんですけど、ここに書いてあるディーゼル発電機の
0:33:40	フィルターについてこの広いところの赤字のところに、
0:33:45	フィルターという記載があるんですけど、ディーゼル発電機の場合は、
0:33:50	単にフィルターって書いた時は、何かフィルターの組み合わせの場合なんでしょうか。
0:34:00	北海道電力の荒井でございます。ディーゼル発電機能、フィルターにつきましては吸気消音器フィルターが該当します。
0:34:09	したがいましてこちらのフィルターセンターで書いてございます。江藤慶喜消音器フィルターの方に訂正させていただきたいと考えてございます。
0:34:20	規制庁大塚です。承知しました。
0:34:34	そうだ。あとすいませんフィルターで、
0:34:37	外気取入孔の方で、平形フィルターの写真はさっき見せていただいたんですけど、そフィルター
0:34:45	がどういうものなのかっていうのを、
0:34:49	を見たくてちょっと写真がもしあれば教えていただきたいのとあと平田フィルターとの
0:34:55	構造上の関係。
0:34:58	を見たいんですけど、何かずっと買ってついてましたでしょうか。
0:35:03	北海道
0:35:04	でございます。
0:35:06	現状で月受けるのは平形フィルターの構造図のみで、そフィルターの方の構造図については今資料の方に載っていません。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:15	したがいまして添フィルターの構造の方につきましても反映させていただきまして、構造がわかるように、こちらの方、反映していきたいと思 います。以上で
0:35:25	はい。規制庁大塚です。よろしくお願いします。
0:35:28	あと私から最後なんですけど、
0:35:31	別添1の11、
0:35:34	台風2ページお願いします。
0:35:38	別添1、5、11-2ページです。
0:35:52	この大井を見ると、詳細の図がついてるんですけど、とマリーの方の排 気管の方は、何かずっと、
0:36:02	ずっと買わないんでしょうか。もしあればここにもつけていただきたい んですけど。
0:36:18	北海道電力の荒井でございます。今、コメントいただきましたタービン の補助給水ポンプの排気管の接ちいの部分の構造のお話かと。
0:36:28	思います。図1の方で配布さんの設置状況として、写真の方載せている んですけども、衛藤大井。
0:36:36	と同様に、衛藤構造の方、
0:36:40	追加いたしまして資料の方反映していきたいと考えております。以上で す。
0:36:46	規制庁大塚ですよろしくお願いします私からは以上です。
0:36:53	規制庁宮尾です私の確認だけなんですけど、今、仮に10センチになっ たんですけど、別にこれ欠席じゃないですけど、20センチから増える可能 性が減る可能性どっちが多いんですけど、今、
0:37:12	電力の笹田です。非常に答えづらいところですけども、もともと日本中 って言ってたところもあるので、40になる可能性は否定できないという ふうに考えてます。
0:37:24	一応それで40でも、
0:37:26	1を一通り大丈夫なことは確認しております。
0:37:33	わかりました。あと多田さん、さっきの話で40だと1段上がれば、一 段下がれば4センチとか、多分そんな話になるんで、多分ね。
0:37:43	になると今度は降下火砕物の方が支配的になるので、そうすると、雪が 平年値になって、降下火砕物が40センチになるんで、
0:37:52	逆に他のプラントと同じ状況になるというかそういうふうになります。
0:37:59	逆にそっちの方がわかりやすいっていう、そういう話になるというこ と。要は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:04	飯田から 40 センチになると主が 40 センチになって 189 が三分の 1 になるっていう多分そういう組み合わせのちょうど境界が 20 から 40 の辺りにあるっていう、そういう認識ですかね。わかりました何となく言われてることは理解しました。はい。私は以上です。
0:38:24	規制庁大塚です。本日の説明は以上でよろしいですか。
0:38:31	北海道電力の新井です。本日の説明は以上です。
0:38:36	何か確認しておきたい点等ありますか。
0:38:43	北海道電力の穴井でございます。当社からはございません。以上です。
0:38:48	はい。それでは本日のヒアリングはこれで終了したいと思いますありがとうございますありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。